

2018年8月8日

各 位

会社名 株式会社 精工技研
代表者名 代表取締役社長 上野昌利
(コード番号 6834)
問合せ先 執行役員管理部長 斎藤祐司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

共同出資による合弁会社設立のお知らせ

当社の子会社、杭州精工技研有限公司（中華人民共和国浙江省杭州市）は、中国の投資会社、寧波梅山保税港区碳仲投資管理パートナーシップ企業（中華人民共和国浙江省寧波市）との共同出資により合弁会社を設立いたしましたので、下記のとおりお知らせします。新会社では、中国国内の最大手、準最大手規模のクラウドデータセンター及びこれに関連する企業を対象に、光通信部品や関連機器等を開発、販売する事業を共同展開してまいります。

記

1. 共同出資者

名 称 : 寧波梅山保税港区碳仲投資管理パートナーシップ企業（以下、「寧波梅山」）
所 在 地 : 浙江省寧波市北侖区梅山塩場1号オフィスビル11号1813室

2. 合弁会社

名 称 : 浙江精工光电科技有限公司
所 在 地 : 浙江省杭州市濱江区濱康路526号（杭州精工技研敷地内）
設 立 日 : 2018年7月19日
登録資本 : 10百万元（杭州精工技研：2百万元、寧波梅山：8百万元）
事業内容 : 光通信部品、半導体、光チップ、光コンポーネント、光通信システム及び
関連ソフトウェア等の開発及び販売

3. 合弁会社設立の目的と背景

近年、インターネット技術やセンサー技術の進化等を背景に、パソコンやスマートフォン等のインターネット接続端末に加え、自動車や家電製品、ビルや工場等、世界中の様々なモノがインターネットにつながり、データトラフィック量は爆発的に増大しています。並行して、これらのデータを効率よく管理し、利用するためのネットワークインフラとして、クラウドサービスの拡充やデータセンターの建設が世界的に進められています。

(参考)

ワールドワイド地域別データセンタービジネス市場規模推移・予測 (2017年実績～2023年予測)
(百万円)

年次 適用	実績	見込	予測					年平均 成長率 (‘23/17)
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
日本								
出荷金額	1,982,800	2,107,050	2,248,500	2,393,600	2,550,800	2,699,000	2,847,400	6.2%
前年比	—	106.3%	106.7%	106.5%	106.6%	105.8%	105.5%	
中国								
出荷金額	820,000	1,140,000	1,490,000	1,850,000	1,880,000	1,900,000	1,920,000	15.2%
前年比	—	139.0%	130.7%	124.2%	101.6%	101.1%	101.1%	
その他アジア								
出荷金額	930,000	1,100,000	1,330,000	1,500,000	1,570,000	1,620,000	1,650,000	10.0%
前年比	—	118.3%	120.9%	112.8%	104.7%	103.2%	101.9%	
北米								
出荷金額	7,600,000	8,700,000	9,500,000	10,000,000	10,400,000	10,800,000	11,000,000	6.4%
前年比	—	114.5%	109.2%	105.3%	104.0%	103.8%	101.9%	
欧州								
出荷金額	5,300,000	5,900,000	6,500,000	7,000,000	7,200,000	7,500,000	7,600,000	6.2%
前年比	—	111.3%	110.2%	107.7%	102.9%	104.2%	101.3%	
その他								
出荷金額	900,000	1,100,000	1,300,000	1,520,000	1,600,000	1,650,000	1,700,000	11.2%
前年比	—	122.2%	118.2%	116.9%	105.3%	103.1%	103.0%	
合計								
出荷金額	17,532,800	20,047,050	22,368,500	24,263,600	25,200,800	26,169,000	26,717,400	7.3%
前年比	—	114.3%	111.6%	108.5%	103.9%	103.8%	102.1%	

(出典：富士キメラ総研)

データセンタービジネスは北米や欧州のウェイトが高いものの、2017年から2023年までの平均成長率は中国が15.2%と最も高くなると予想されています。データセンターでは光コネクタや光トランシーバー等の光通信用部品が大量に使用されることから、成長著しい中国の光通信市場に投資することが大きなビジネスチャンスにつながると判断した次第です。

また、共同で事業を行う寧波梅山は、中国国内のデータセンターやインターネット関連の大手企業に対して強力な営業力を有しています。新設する合弁会社では、寧波梅山からの出身者が営業活動を担当し、光コネクタや光トランシーバー等の光通信用部品を販売します。杭州精工技研では、これらの光通信用部品の製造を担うこととなります。

4. 当期の業績に与える影響

当期の業績に与える影響は軽微であり、2018年5月11日に公表した2019年3月期の連結業績予想に変更はありません。

以上